

実務経歴証明書記入例 (①：建築物の設計に関する場合)

第一号の三書式 (第1条の5関係) (A4)

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

福岡県指定登録機関
公益社団法人福岡県建築士会 会長 殿

株式会社〇〇建築設計事務所
代表取締役所長

証明者 **登録 太郎**

〇〇県知事登録 第〇〇号
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 (株)〇〇建築設計事務所 〇〇部 免許一郎
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する建築士
事務所の開設者**

下記の者が申請した一級建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 士郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・事務所ビル(鉄筋コンクリート造 5階建て、延べ面積 2,000 m²)の改修工事の設計業務のうち、基本設計補助(平面、立面、断面計画等)等を担当
- ・小学校(木造 3階建て、延べ面積 3,000 m²)の新築工事の基本・実施設計業務において、基本設計にて平面、立面、断面計画等の作成補助を、実施設計にて一般図(平面、立面、断面)の作成補助を担当
- ・病院(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積 2,500 m²)の新築工事の基本設計業務において、関係法令のチェックや各種インフラ整理、必要諸室・規模の検討等の設計と条件の整理を担当した。

備考

- 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。